

チャペル週報

No.20

2023.10.30～11.3

あなたがたは世の光である。

山の上にある町は、隠れることができない。

マタイによる福音書 5章14節



Central Garden (神戸三田キャンパス)

関西学院宗教センター



チャペル・スケジュール

時間:西宮上ヶ原キャンパス・西宮聖和キャンパス 10:30~11:00 神戸三田キャンパス 10:40~11:10
場所:各学部チャペル(ランバスチャペルアワーは西宮上ヶ原キャンパスランバス記念礼拝堂)

10月30日(月) 神 宗教改革を覚えて 中道 基夫(院長)
経 李 相勲(宣教師、経済学部准教授)
人 中野 陽子(人間福祉学部教授)
建 小田部 進一(神学部教授)
聖和 坂口クラス ダッドレーチャペル

10月31日(火) 神 鄭 東鎬(神学研究科 M2年)
文 Andreas Rusterholz(宗教主事)
社 音楽チャペル 関西学院交響楽団
法 秋山 仁(日本福音ルーテル教会 豊中教会牧師)
経 宗教改革記念日を覚えて 舟木 讓(宗教主事)
商 嶺重 淑(人間福祉学部宗教主事)
国 関谷 武司(国際学部教授)
理・工・生環 前川 裕(宗教主事)
総 Christian Triebel(宣教師、学長直属助教)
教 梶原 直美(宗教主事)

11月1日(水) 神 古澤 百代(日本キリスト教団 神戸東部教会牧師)
社 音楽チャペル 混声合唱団エゴラド
法 Christian M. Hermansen(宣教師、法学部教授)
商 木原 桂二(宗教主事)
人 宗教改革記念日を覚えて 嶺重 淑(宗教主事)
国 平林 孝裕(宗教主事)
理・工・生環 前川 裕(宗教主事)
教 関西学院ウィメンズ・グリークラブ

11月2日(木) 神 関西学院聖歌隊の演奏による音楽チャペル
文 Andreas Rusterholz(宗教主事)
社 身近な社会問題から① 打樋 啓史(宗教主事)
法 堀江 有里(社会学部非常勤講師)
経 人間を考える⑤ 黒川 博文(経済学部准教授)
商 岡村 秀夫(商学部教授)
人 安藤 幸(人間福祉学部准教授)
国 Chapel in English Janette McIntosh(宣教師、国際学部教授)
総 寿賀 素子(三田市国際交流協会副会長)
聖和 児童虐待防止オレンジリボン運動 波田 埜 英治(短大准教授)

11月3日(金) 神 「私の大切な場所」⑩ 小田部 進一(神学部教授)
文 Chapel in English Andreas Rusterholz(宗教主事)
経 人間を考える⑥ 栗田 匡相(経済学部教授)
理・工・生環 李 善恵(宣教師、人間福祉学部教授)

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:10~8:30 ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

11月3日(金) 子どもセンターのために 丹羽 登(教育学部教授)

Zoomでご参加希望の方は、宗教センター(shukyocenter@kwansei.ac.jp)へメールでお知らせください

集まることの意味

北村 泰彦

「自分たちの集まりをやめたりせず、むしろ励まし合いましょう。」(ヘブル人への手紙 10 章 25 節)

コロナ禍によって大学の授業のほとんどがオンラインになったことは記憶に新しいことですが、私が通っている教会の日曜礼拝もオンラインに切り替わりました。このような大きな生活様式の変化は私の人生にとって初めての経験であり、人が集まることの意味について考えさせられました。

日曜礼拝には年齢、国籍を超えて、バックグラウンドが異なる人々が集います。その中で牧師が行う説教は重要な要素ですが、単に話を聞くだけではなく、教会に集う者同士がそれを分かち合うことにより、より大きな恵みを得ることができず。説教の元となる聖書は 2000 年前に書かれた書物であり、わたしたちの生活の道標となるものですが、現代社会に適用していくには、一人で理解するよりも、バックグラウンドが異なる多くの人と分かち合うほうがその理解や適用はより深まります。

さて、大学生活に目を向けると、みなさんが出席している授業も同じような意味があるのではないのでしょうか？年齢層はほぼ同じといえますが、留学生を含め世界中の様々な地域から学生が一つのキャンパスに集ってきています。国公立大学と異なり、私立大学には一般入試だけでなく、様々な推薦入学を通して多様な能力を持った学生が集まっています。

授業内容は高校のように決まりきったものではなく、教員の研究成果やその経験に基づいたオリジナルな内容が含まれます。ですので学生にとっては理解が追いつかないような内容も含まれることもあるでしょう。そのような場合、学生同士で学び合ったり、教員に対して質問したりすることが、その理解を助けることとなります。教員にとっても学生からのフィードバックは授業の内容を深める上で大きな手助けとなります。

コロナ禍で取らざるを得なかったオンライン授業は、教員から学生への一方向的なものになりがちで、教員と学生の相互コミュニケーションがとりづらいものでした。現在は従来の対面授業へと戻っていますが、単に教員からの話を聞くだけのものであるのなら、オンライン授業と変わりません。積極的に教員に質問したり、学生同士で学び合ったりすることの価値を再認識したいと思います。

(工学部教授)

●院長室から発信！ビデオメッセージ「風に思う」配信のご案内

院長室からのビデオメッセージ「風に思う」を配信しています。毎回、聖書の言葉を取り上げ、それが今を生きる私たちに何を語るか、短くお話しします。キャンパスの美しい風景と合わせて、関西学院の中心となる精神に触れてください。(月 2 回程度更新されます)



<https://ef.kwansei.ac.jp/about/kazeniomou>「風に思う」

関西学院 院長室からのメッセージ(HP)

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急大阪梅田駅から徒歩すぐ、アプロースタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の月1回、原則第2木曜日にチャペルアワーを開催します。場所は1405教室です。どなたでもご自由にご参加ください。

11月9日(木)17:50~18:10 嶺重 淑(大学宗教主事)

12月13日(水)17:50~18:20 クリスマス礼拝 打樋 啓史(宗教総主事)

●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝

授業期間中の第2・第4日曜日(原則)の午前10時から関西学院会館ベーツチャペルでは日曜礼拝を行っています。どなたでも(クリスチャンでなくとも)ご参加できますのでどうぞお越しください。

11月12日(日)10:00~11:00

11月26日(日)10:00~11:00

●「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

恒例の関西学院最大のクリスマスページェントを大阪のザ・シンフォニーホールで開催いたします。参加費(入場料)は宗教活動委員会を通して関連団体に献金させていただきます。

日時:2023年12月19日(火)17:30開場 18:30開始 21:00終了予定

場所:ザ・シンフォニーホール(大阪市北区大淀南2-3-3)

内容:第一部…聖書朗読と音楽で綴る降誕物語とクリスマスメッセージ

第二部…学院の音楽団体とゲストによるクリスマスコンサート

参加費(入場料):2,100円 当日座席指定(16:30より座席券と交換)

チケット販売(10/6より販売中):

*関西学院大学生協(tel.0798-53-5150 NUC, KSC, NSCで販売)

*チケットぴあ Pコード 253-010

<https://w.pia.jp/t/symphonyhall/>

*ぴあ取扱いのコンビニエンスストア:ファミリーマート、セブン・イレブン

*ザ・シンフォニーチケットセンター(ザ・シンフォニーホール内 06-6453-2333・火曜定休)

<https://www.symphonyhall.jp>

主催:関西学院

共催:関西学院後援会・関西学院同窓会

お問い合わせ:関西学院宗教センター(tel.0798-54-6018)

チケットぴあ



ザ・シンフォニー
チケットセンター



●チャペル週報書式の変更について

コロナ禍により紙媒体での発行を休止しておりましたチャペル週報ですが今学期より再開しております。前号よりUDフォントへと変更いたしました。これからもより良いチャペル週報となるよう検討を重ねてまいります。